


2009年9月2四半期決算説明

2009年5月

株式会社 篠崎屋 2926

<http://www.shinozakiya.com>

2009年9月第2四半期決算ハイライト

単位:千円	09/9第2四半期	百分比	08/9第2四半期	百分比	前年同期比
売上高	2,770,779	100.0%	2,821,090	100.0%	98.2%
小売事業	856,426	30.9%	419,575	14.9%	204.1%
外食事業	408,572	14.7%	286,972	10.2%	142.4%
卸売事業	1,505,779	54.3%	2,114,542	75.0%	71.2%
売上原価	1,755,487	63.4%	2,026,443	71.8%	86.6%
売上総利益	1,015,291	36.6%	794,647	28.2%	127.8%
販管費	953,039	34.4%	989,439	35.1%	96.3%
人件費	355,758	12.8%	296,670	10.5%	119.9%
運賃	155,190	5.6%	240,676	8.5%	64.5%
地代家賃	118,207	4.3%	69,173	2.5%	170.9%
減価償却費	24,664	0.9%	12,095	0.4%	203.9%
営業利益	62,252	2.2%	194,791	6.9%	-
経常利益	56,381	2.0%	195,740	6.9%	-
当期純利益	798,071	28.8%	193,677	6.9%	-

計画差異要因

単位:百万円	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
計画	2,787	48	52	483
実績	2,770	62	56	798
差異	17	110	108	315

【 売上高要因 】

・売上高計画比 小売事業123%、外食事業100%、卸事業90%

【 利益要因 】

・営業利益計画比 小売事業288%、外食事業81%、卸事業56%

・小売事業 小売・中食直営で新商品・PB商品を積極的に導入し粗利改善・販売コストダウン
小売FCの収益大幅改善

・外食事業 メニュー単価引き下げによる利益率の減少

・卸売事業 10月から価格見直しを実施し、一部不採算商品は取引を見合わせたが、中高価格帯商品について計画通りの価格見直しができなかった

【 特別損失 】

・関係会社株式売却損 420百万円

楽陽食品株式会社(連結子会社)と株式会社ミズホ(持分法適用関連会社)について、
当初想定していたシナジー効果が見込めないため全株式を売却

・減損損失 262百万円

かすみがうら工場、下仁田工場を対象に減損損失計上

製造原価の改善(減損理由)

【 収益性の低い廉価品の価格見直し 】

- ・収益性が低く、特売等で製造計画の見込みが難しく、結果、製造コストの上昇要因
- ・10月以降、コスト上昇に見合う価格見直しを実施

卸売事業において、収益の見込めない商品を見直したことにより製造数量の減少

下仁田工場

蒟蒻粉等の原材料価格高値安定分を価格転嫁できる見込みがないため一旦休止

かすみがうら工場

流通業界で消費者の生活防衛意識の高まりを背景に低価格化が当面継続する見通しのため、下期以降の生産数量増加が想定できないため一旦休止

下仁田工場・かすみがうら工場で262百万円を減損損失として特別損失計上

【 製造原価の改善 】

4月以降、下仁田・かすみがうらの2工場分の製造経費削減
製造原価の改善が進み、収益体質の強化を図る

セグメント別実績

単位: 千円	09/9第2四半期	08/9第2四半期	前年同期比
小売事業	856,427	419,576	204.1%
直営店売上	733,539	324,620	226.0%
FC卸売上	121,974	93,250	130.8%
FCその他収入	914	1,706	53.6%
外食事業	408,573	286,972	142.4%
直営店売上	310,226	161,903	191.6%
FC卸売上	61,138	91,853	66.6%
FCその他収入	37,209	33,216	112.0%
卸売事業	1,505,780	2,114,542	71.2%

・「商店街型」12店舗出店
 ・「郊外型」2店舗出店
 (パイロット店舗として検証中)
 ・集客力の見込みの低い
 1店舗閉店

・7店舗純減も直営店舗の
 成功モデルを導入し、
 売上底上げを図る

・集客力の見込みの低い
 路面店を対象に3店舗閉店

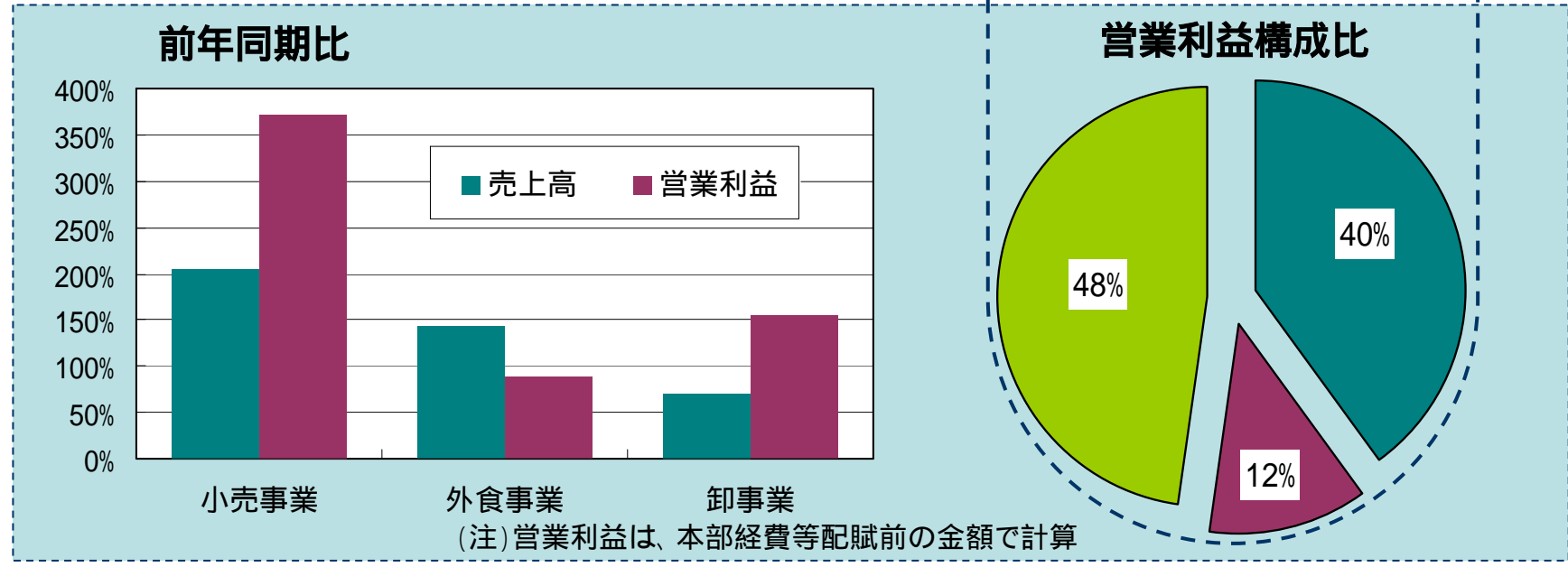
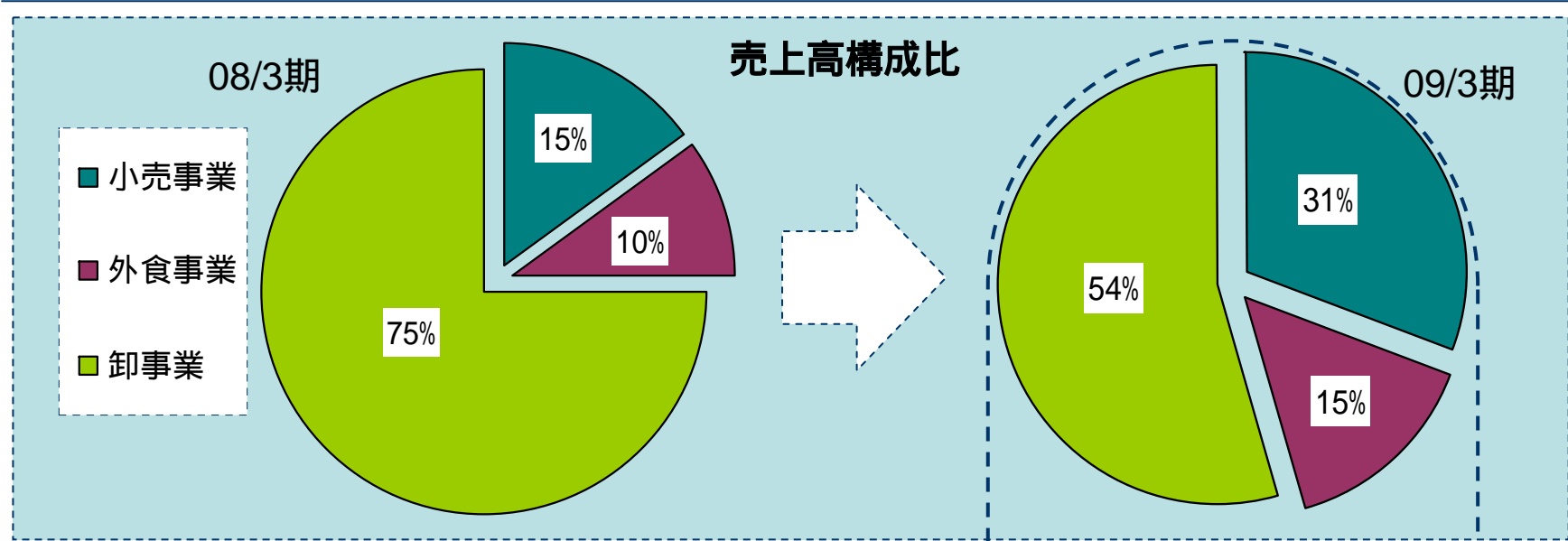
・価格見直しの結果、廉価品を
 中心に販売数量の減少

『三代目茂蔵』
 ブランドの
 PB商品を
 積極的に導入



【梅干】 【砂糖】 【味噌】 【油】 【お茶】

セグメント別構成比



2009年9月第2四半期 BS

単位:千円	09/9第2四半期	08/9期	増減額	増減比	コメント
流動資産	825,110	1,036,105	210,995	79.6%	
現預金	164,771	147,680	17,091	111.6%	
売掛金	485,197	683,986	198,789	70.9%	
原材料	46,814	64,503	17,689	72.6%	
固定資産	1,805,796	2,995,035	1,189,239	60.3%	
有形固定資産	1,525,655	1,885,767	360,112	80.9%	・かずみがうら、下仁田工場減損
無形固定資産	21,793	36,223	14,430	60.2%	
投資その他の資産	258,347	1,073,043	814,696	24.1%	・関係会社株式売却
資産合計	2,630,907	4,031,140	1,400,233	65.3%	
流動負債	853,997	1,166,027	312,030	73.2%	
支払手形・買掛金	399,081	424,752	25,671	94.0%	
1年内返済長借金	64,296	224,296	160,000	-	・短期借入金返済
固定負債	720,596	1,032,361	311,765	69.8%	・長期借入金減少
長期借入金	170,313	362,461	192,148	47.0%	
リース債務	241,857	362,535	120,678	66.7%	・工場設備リース等
負債合計	1,574,594	2,198,388	623,794	71.6%	
純資産	1,056,313	1,832,752	776,439	57.6%	
株主資本	1,056,313	1,854,384	798,071	57.0%	・資本金2,705百万円
評価・換算差額等	0	21,632	21,632	0.0%	
負債・純資産合計	2,630,907	4,031,140	1,400,233	65.3%	

2009年9月第2四半期 CF

単位:千円	09/9第2四半期	08/9期
営業活動によるキャッシュフロー	144,080	323,504
投資活動によるキャッシュフロー	271,091	169,384
フリーキャッシュフロー	415,171	154,120
財務活動によるキャッシュフロー	398,080	410,523
現金及び現金同等物の期末残高	164,771	192,792

営業活動によるキャッシュフロー

減価償却費等131百万円、減損損失262百万円、売上債権減少185百万円、等

投資活動によるキャッシュフロー

有形固定資産の取得45百万円、敷金・保証金の差入による支出28百万円、等

財務活動によるキャッシュフロー

長期借入金の返済352百万円、リース債務返済による支払45百万円、等

(注)08/9期は連結データ

09/9期 事業方針

今期主要課題

製造卸モデルの収益基盤確立

- WIN - WINの取引先との関係強化
- 提案型営業力の強化による業務用取引先の拡大

製造小売モデルの再スタート元年

- 直営店舗で25店舗程度の出店
- 進化したビジネスモデルの検証

製造原価の改善(生産性の向上)

- 製造工程・製造ラインの徹底的な見直し
- 原材料等の安定確保・コスト低減のために仕入先との関係強化

製造卸モデルの収益基盤確立

足元の流通業界を取り巻く環境は低価格路線の本格化

2008年8月大手GMSで38円とうふの販売開始

2009年以降、他のGMSも低価格路線へ

値頃感とクオリティの両立が困難

買う人・売る人・造る人の満足度低下

景況感の回復とともに消費者の求めるものは「いいものを適正価格」な商品へ

値頃感とクオリティの両立が可能

買う人・売る人・造る人の満足度向上

消費者の食文化向上へ貢献

業界に先駆けて時代を見通す商品を提案

商品力と提案力を発信し、業界内での存在意義の発揮

【収益基盤確立】

Win-Winな関係の取引先を増やし、より関係強化を深めてパートナー化する

製造小売モデルの再スタート元年

工場直売所のビジネスモデル再構築を検証し『**商店街型モデル**』が好調に推移

【 出店条件 】

活力のある商店街
20坪程度の店舗
冷ケース5本以上
初期投資250万円程度

『商店街型モデル』として
月商300万円以上のモデル構築

今年度25店舗出店を計画
(上期「商店街型」12店舗、「郊外型」2店舗出店)

2008年10月	三ノ輪	東京都荒川区南千住
	松伏	埼玉県北葛飾郡松伏町
2008年11月	霜降銀座	東京都北区西ヶ原
	横浜橋	神奈川県横浜市
	蒲田	東京都大田区西蒲田
2008年12月	新田	埼玉県草加市
	京急蒲田	東京都大田区蒲田
2009年1月	梅屋敷	東京都大田区大森西
2009年2月	幸手	埼玉県幸手市
	戸越銀座	東京都品川区平塚
	元住吉	神奈川県川崎市
2009年3月	赤羽	東京都北区赤羽
	所沢	埼玉県所沢市
	町田	東京都町田市



横浜橋



戸越銀座



蒲田



町田

2009年9月期業績予想

単位:百万円	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
09/9期	6,221	153	146	691

お問合せ先

【担当者】

経営企画部長兼IR室長

沼寄 昭宏

TEL : 048・970・4949

FAX : 048・970・4889

E-Mail : ir@shinozakiya.com

URL : <http://www.shinozakiya.com/>

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2009年3月末現在の財務データに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。